

質 問 者 木 村 征 郎

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 大震災から３年が経過して	本町の復興計画も復旧期から基盤整備期に入り、
	本格復興の正念場の時を迎えている。
	この１、２年が今後の本町のまちづくりの根幹を
	形成すると考えます。多忙の中でも一息いれる心の
	余裕を持ちつつ復興事業を進めるべきと考えます。
	多くの住民の定住を願いながら、次の点を伺います。
	(１) 被災者再建の基礎支援金と加算支援金の町内
	外別申請数と内容を示してください。
	(２) 復興後の本町の活性化を考えると、政策的
	に若者定住策を実行すべきと考えますが。
	(３) 県内外で災害公営住宅の建設が進んでいる
	が、空き室が目立つ状況でもあります。入居を
	促進するような手立てが必要と考えますが。
2 災害弱者の名簿作成は	(質問の相手：町長・担当課長)
	東日本大震災では障 ^{がい} 碍者、高齢者等が逃げ遅れて
	数多くの犠 ^{がい} 牲者がでた。県防災会議は災害時に障 ^{がい} 碍
	者や高齢者を迅速に避難させるため災害弱者名簿の
	作成と、防災組織等への情報提供を市町村に義務付
	けた。作成した名簿は町内会等で共有するよう求め
	ている。障 ^{がい} 碍者等へ配慮した町の施策は健常者も含

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 教育について	めた全ての人々が安らぎを感じるものです。
	そこで次の点を伺います。
	(1) 本町の災害弱者の名簿は作成されていますか。
	(2) 名簿は町内会や民生委員で共有すべきと考え
	ますが、個人情報との関係で支障はありますか。
	(3) 2013 年 4 月、障害 ^{がい} 者優先調達推進法が施行さ
	れたが、本町での取り組み方は。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	2012 年に実施された第 5 回国際学習到達度調査
	(PISA) の結果、我が国の中学生の学力は V 字回復
	していると発表されたが、一度の事で一喜一憂すべ
	きではないと考える。それ以上に本町の子どもたち
	が過酷な体験の中で“女川いのちの石碑”を建立し
	たのは素晴らしい実績である。本町の子どもたちの
	健全な且つ逞しい成長を願いつつ、次の点を伺います。
	(1) PISA の V 字回復の要因はどこにありますか。
	(2) いのちの石碑の今後の建立予定は。
	(3) 今後も子どもたちへの大震災の心的影響が懸
	念されますが、対策は。
	(質問の相手：教育長)